

令和4年度 上郡町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・ 認知症初期集中支援チーム員
 - ・ 認知症ケアネットの作成
 - ・ SOSネットワークの構築
 - ・ 認知症予防健診後のフォロー訪問
 - ・ 認知症サポーター養成講座の開催、チームオレンジ活動
 - ・ 認知症普及啓発イベント
 - ・ 介護者のつどい、本人ミーティングの開催
 - ・ 認知症出前講座の開催 等

報告者氏名： 市町担当 松本杏奴 認知症地域支援推進員 上田元子

上郡町 認知症施策全体図

国のすすめる認知症施策推進大綱

1. 普及啓発・本人発信支援



2. 予防

3. 医療・ケア・介護サービス・ 介護者への支援



4. 認知症バリアフリーの促進・ 若年性認知症の人への支援・ 社会参加支援



5. 研究開発・産業促進・国際展開

上郡町の認知症施策の取り組み

- ・アルツハイマー月間における普及啓発イベント
- ・認知症サポーター養成講座
- ・本人ミーティングの開催
- ・認知症相談窓口（地域包括支援センターに設置）の周知

- ・通いの場立ち上げ・継続の支援、広報
- ・健康教育における認知症予防講座



- ・認知症初期集中支援
- ・認知症健診
- ・介護者のつどい
- ・もの忘れ相談
- ・認知症ケアネットの作成

- ・SOS ネットワークの構築、認知症高齢者等声かけ模擬訓練の開催
- ・GPS 貸出助成事業
- ・チームオレンジ構築（ステップアップ講座の開催）
- ・成年後見制度の利用促進
（西播磨成年後見センターの設置、成年後見制度相談窓口の周知
健康教育における成年後見制度に関する講座 等）

標題 上郡町における認知症普及啓発事業の効果

上郡町の現状

- 高齢化率が約40%を上回り、年々高齢者の数が増加している
- 近隣との交流が少なく孤立してしまう独居高齢者が多い
- 相談先が分からず、かなり生活に支障が出る程度になって初めて相談に来られる
- 令和3年度介護保険新規申請のうち、認知症が理由の方が24.8%を占めていた
- 窓口や電話等での相談内容の多くが認知症に関わることだった



もっと認知症のことを知りてもらい、早期からの支援が必要！

そこで…

1人でも多くの人に認知症のことを知ってもらうため、令和4年度のアルツハイマー月間では町内のスーパー等の店頭で認知症啓発グッズを配布しました。

日時：令和4年9月21日（水）

配布場所：旬菜蔵、ボンマルシェ、コープ上郡、マックスバリュ上郡店

参加者：上郡町地域包括支援センター職員 8名

チームオレンジメンバー 5名



例年は地域包括支援センターの地域支援推進員で配布していましたが、令和4年度よりチームオレンジが始動したので、メンバーには活動の1つとして参加していただきました！

啓発活動を終えて...

店頭に立ってグッズを手渡しすることで住民に直接声をかけることができました。ある店舗では実際に住民の相談に乗っている推進員もいました。



チームオレンジの方も積極的に声をかけておられ、より良い普及啓発に繋がったと思います。

「認知症の相談窓口が地域包括支援センターであること」を知らない方がまだまだいるので、認知症地域支援推進員としてもっと私たちの取り組みを知っていただけるように、積極的な普及啓発を行いたいです。そして、認知症の有無に関わらず誰もが住みよい町を目指したいと思います。

